藻類養殖情報（令和６年１２月号）

令和６年 12 月 10 日発行
大阪府立環境農林水産総合研究所
水産技術センター

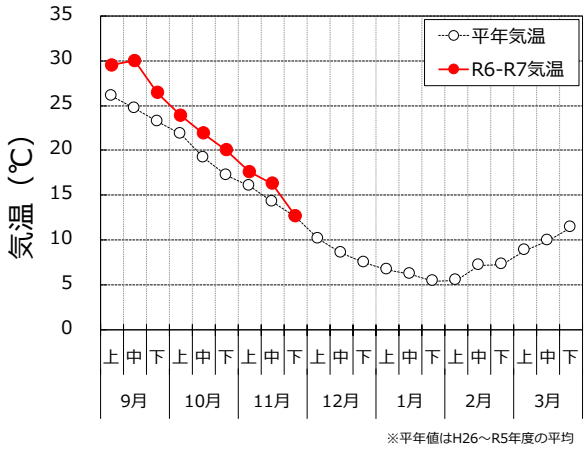
○漁場環境

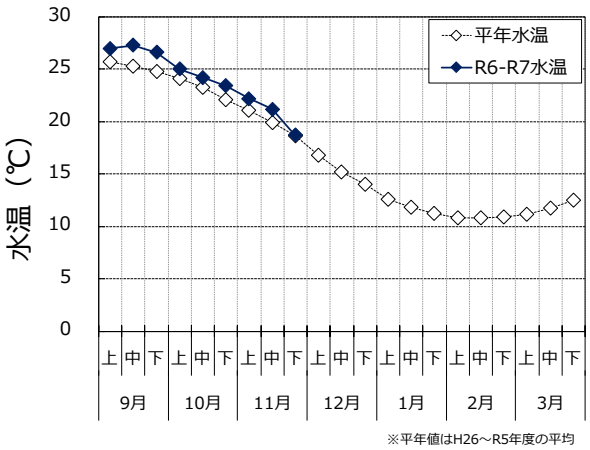
・気温（谷川）：11 月上旬から中旬にかけては平年より 1.6～2.0℃高めに推移しましたが、11 月下旬には平年並みとなりました。

・水温（谷川）：11 月上旬から中旬にかけては平年より 1.1～1.3℃高めに推移しましたが、11 月下旬に急に降温しておおよそ平年並みとなりました。

下記の水産技術センターホームページで谷川地先の水温情報を毎日更新し、１週間先までの水温の推移を予測しておりますのでご利用下さい。

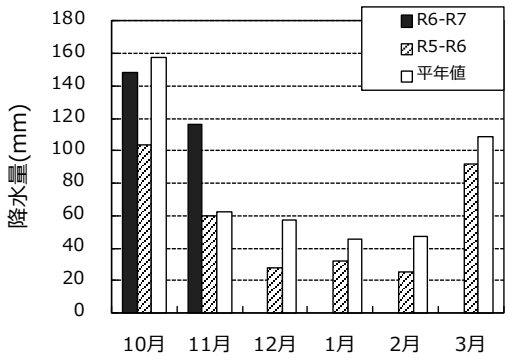
URL：https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html





旬別水温・気温の推移（谷川地先９時）（平年値は H26～R5 年度の平均）

・降水量（谷川）：１１月の降水量は 116.5 ㎜ となり、平年のおおよそ２倍の降水量となりました。



降水量（谷川地先）
（平均値は H26~R5 年度の平均）

・今後の気温降雨量予測（気象庁季節予報）

12 月７日～1 月６日の予報期間中について、寒気の影響を受けやすいため、気温は低めになると予報されています。また、近畿の太平洋側では低気圧の影響を受けにくいため、向こう１か月の降水量は少なく、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

URL： https://www.jma.go.jp/bosai/season/

○漁場水質調査結果（12 月 2 日採水）

・塩分：塩分は 23.17～32.68 でした。

・リン：各地区のリン濃度は 0.47～2.10 μmol/l でした。

ワカメ養殖：いずれの地区においても十分な濃度があります。

ノリ養殖：西鳥取地区でノリの色落ち警戒濃度を下回っています。

・窒素：各地区の窒素濃度は 5.52～48.30 μmol/l でした。

ワカメ養殖：いずれの地区においても十分な濃度があります。

ノリ養殖：西鳥取地区でノリの色落ち警戒濃度を下回っています。

	ワカメ	ノリ
リン（μmol/l）	0.1	0.5
窒素（μmol/l）	2	10

藻類色落ち警戒栄養塩濃度

（この数値を下回ると色落ちの可能性あり）

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

漁場	田尻	岡田浦	尾崎*1	西鳥取*1	下荘	淡輪*2	谷川
塩分（psu）	31.80	23.17	31.16	31.83	31.48	31.29	32.68
リン（μmol/l）	0.51	2.10	1.06	0.47	0.79	0.84	0.55
窒素（μmol/l）	7.55	48.30	17.05	5.87	11.32	10.94	5.52

＊1 尾崎・西鳥取地区にはノリ漁場があります。

＊2 淡輪地区は海洋センター前で採水しています

○赤潮発生状況

12 月 2・3 日の海洋観測では赤潮の発生は認められませんでした。養殖場周辺に場所によっては、コスキノディスクスと呼ばれる大型の植物プランクトンがやや多めに発生しています。最近の大阪湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい（冬季は 2 週間に 1 回更新）。

URL：https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html

○養殖状況（12月2日）

ノリ：西鳥取・尾崎両地区ともに 11 月中旬から 11 月末にかけて育苗したノリ網の入庫が行われました。水温の低下を待ってノリ網の張り込みが開始されます。

ワカメ：若干、種糸の入手が遅れたところもありましたが、11 月下旬から 12 月上旬にかけて種糸の挟み込み作業が行われ、養殖が開始されています。谷川では 1 月上旬の養殖開始にむけて、水槽内で種糸の生産を行っています。

○病害異常

今のところ病害異常はありません。

ノリ：気温や水温の変動が大きい季節です。葉体の状況をよく確認してください。

ワカメ：養殖開始後のワカメは、泥汚れによる生長不良が生じやすい時期になります。定期的に葉体を観察するよう心がけてください。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、随時検査します。